

事業概要

平成 30 年度版



東京都立図書館

平成 30 年 7 月

事業概要 平成30年度版

目 次

I 組織概要	
1 東京都立図書館運営方針	1
2 東京都立図書館運営組織図	3
3 東京都立図書館事務分掌	4
II 主要事業	
1 平成30年度 主要事業	5
2 平成29年度 主要事業報告	6
III 予算・決算	
1 平成30年度 予算	10
2 平成29年度 決算	11
IV 統計資料（平成30年3月31日現在）	
1 所蔵状況	12
2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	13
3 図書館資料収集・整理統計	14
4 利用統計資料（平成29年度実績）	15
(1) 利用状況	15
(2) 登録利用者数	16
(3) レファレンス件数	16
(4) 書庫内図書利用冊数	17
(5) 情報リテラシー支援件数	17
(6) 政策立案支援サービス件数	17
(7) 特別文庫室利用状況	18
(8) 音声・映像資料室利用状況	18
(9) 視覚障害者等サービス状況	18
(10) 協力貸出状況	18
(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	19
(12) ホームページ利用状況	19
(13) 多摩図書館 セミナールーム使用状況	19
V 事業実績（平成29年度）	
1 展示等の事業（展示・講演会等・映画会）	20
2 区市町村立図書館職員等への研修等	27
3 学校教育活動への支援事業	28
4 職員研修等	31
5 刊行物及びホームページでの情報提供	32
VI 所蔵コレクションの紹介	
1 中央図書館	33
(1) 特別文庫室資料 (2) 東京資料 (3) 海外資料	
2 多摩図書館	35
(1) 山本有三文庫 (2) 雑誌創刊号コレクション (3) 児童・青少年資料	
VII 東京都立図書館協議会	36
VIII 資料	
1 東京都立図書館館則	38
2 東京都立図書館沿革	41
3 図書館関係団体・組織一覧	44
4 東京都立図書館ネットワーク概念図	45
5 東京都立図書館シンボルマーク	46
6 ホームページ及びソーシャルメディア	46
7 フロア概要	47
(1) 中央図書館	47
(2) 多摩図書館	50
8 案内図	52

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日
一部改正 平成 18 年 5 月 22 日
一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

(運営全般に関すること)

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

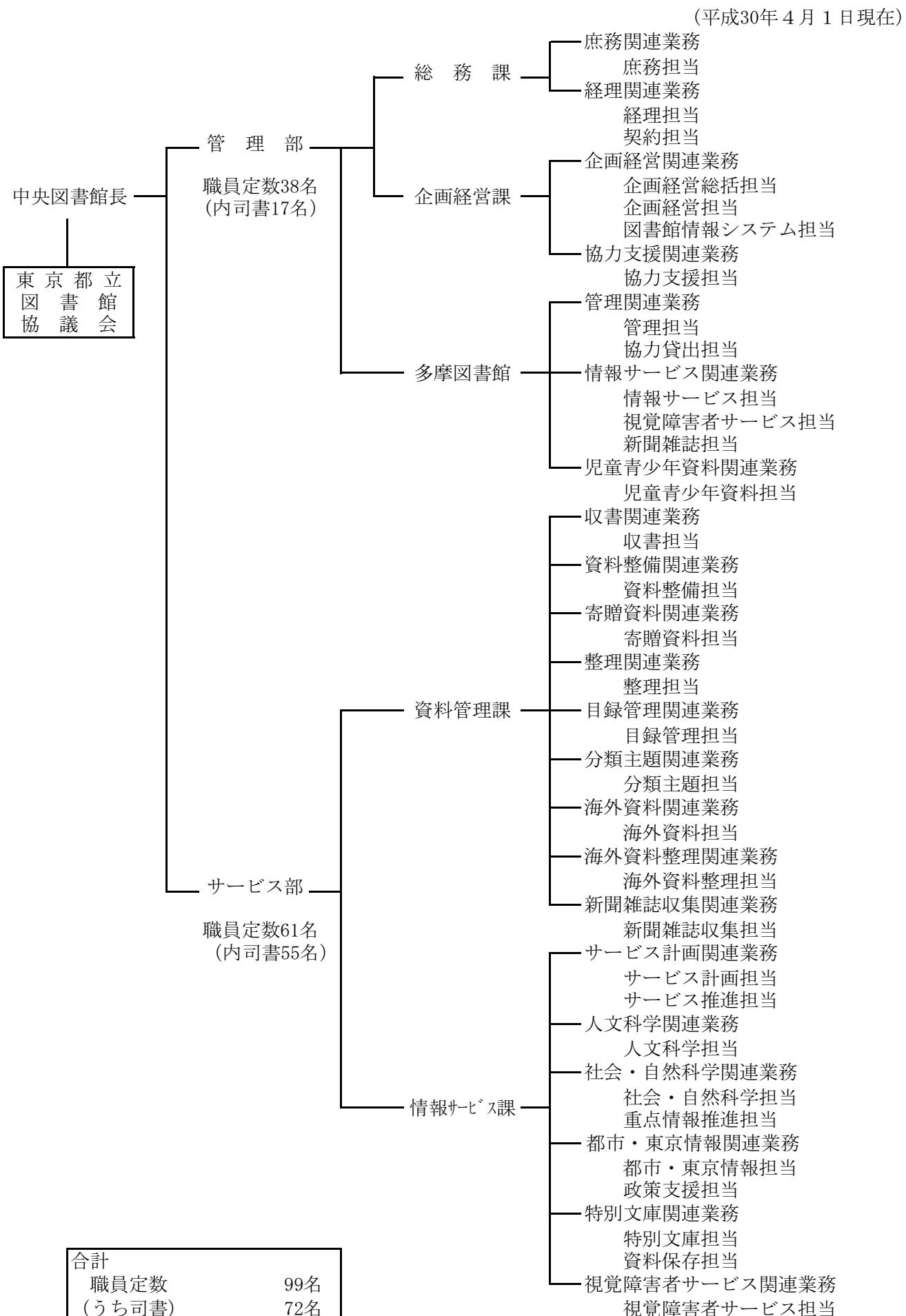
(施行期日)

- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理 都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く） 都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く） 多摩図書館の統括・連絡・調整 中央図書館の施設及び設備の維持管理 中央図書館の館内の取締り
		都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括 都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査 東京都立図書館協議会に関すること 都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること 図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援 図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整 図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること 都立図書館の館報等の編集及び発行 図書館職員等の研修 海外の図書館等との交流に関すること
		多摩図書館の庶務 多摩図書館の文書の管理 多摩図書館の広報・統計・調査 多摩図書館のサービス計画に関すること 多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存 多摩図書館の図書館資料の利用に関すること 雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援 多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること 多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること 多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること 東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附帯設備の貸出しに関すること 都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し 多摩図書館の利用案内に関すること 多摩図書館の施設及び設備の維持管理 多摩図書館の館内の取締り
		都立図書館の資料管理計画に関すること 都立図書館の資料管理に関すること 都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く） 都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること 都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く） 都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること (他の課等において処理するものを除く)
		都立図書館の情報サービス計画に関すること 中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること 中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び 都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること 中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存 中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存 東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること 中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること 中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること 中央図書館の利用案内に関すること
サービス部	情報サービス課	都立図書館の資料管理計画に関すること 都立図書館の資料管理に関すること 都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く） 都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること 都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く） 都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること (他の課等において処理するものを除く)
		都立図書館の情報サービス計画に関すること 中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること 中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び 都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること 中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存 中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存 東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること 中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること 中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること 中央図書館の利用案内に関すること

東京都立図書館処務規則より抜粋

II 主要事業

1 平成 30 年度主要事業

「都立図書館実行プラン to 2020」（平成 30 年 1 月）に基づき、以下の 3 本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の初年度である平成 30 年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する。

ア 2020 年に向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信

イ 世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

【具体的な取組】

中央図書館 1 階 3 展示コーナーの利用促進、オリンピック・パラリンピック関係資料の収集・活用、区市町村立図書館との連携事業実施、デジタル化画像を活用した情報発信強化 等

(2) 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア レファレンス機能の強化

イ 利用者のアクティブな学びの支援

ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実

エ 学校への支援拡充

オ 都政への支援拡充

【具体的な取組】

潜在的利用者層への大規模アンケートの実施及び事業への活用、東京マガジンバンクカレッジ関連事業の発展、英語による外国人向けガイダンスの定例開催、スムーズな図書館利用のためのサービス向上、校外学習パッケージを活用した支援の充実、政策立案支援サービスの広報強化 等

(3) 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する。

ア 館内施設の有効活用

イ 学びの空間、施設、設備の充実

ウ 多様な情報源へのアクセス環境整備

エ 利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

【具体的な取組】

「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた拠点空間の提供、閲覧机・椅子の段階的整備、電子書籍検索の機能の向上、職員育成基本方針の改定 等

《共通の施策》 広報活動を刷新し、積極的な情報発信や PR を行う。

上記 3 本の柱の各事業を効果的に進めるために、横断的な取組として、積極的な広報活動を開する。

ア 新たな手法による情報発信強化

イ 広報活動の枠組や体制の整備

【具体的な取組】

館外イベント等出展先開拓による広報、「顔の見える」広報の実施、外国人をターゲットにした広報の実施、広報活動の運営枠組の整備、都立図書館ロケーションボックスの設置 等

2 平成 29 年度 主要事業報告

(1) 「都立図書館改善の方策」に基づく事業の実施

ア オリンピック・パラリンピック関連情報の多面的展開

(ア) 新たな情報サービスの展開 【情報サービス課】

1階3展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan（日本に関する洋書））では、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向け、展示内容を定期的に更新した。

また、4階企画展示室において、シリーズ展示「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～世界の国のこともっと知ろう！」を4回実施し、資料リストをWebで公開した。11月の「アフリカpart2編」では、（一社）アフリカ協会の協力を得て、企画展示室内において「アフリカ講座」（全6回）を開催した。

(イ) 外国人利用者へのサービスの充実 【情報サービス課】

平成29年12月より、1階総合案内・相談カウンター及び利用者受付に翻訳アプリを搭載したタブレット型携帯端末を各1台配置し、試行的活用を開始した。

英語による外国人向け図書館ツアーを、8月と12月の2回実施した。

(ウ) 新たな利用者開拓のための関連イベント等の実施 【情報サービス課】

ビジネスリーダー講演会「脱近現代 多様性のある世界のために」及び「時代を見とおすリーダーシップ」、オリンピック・パラリンピックに関するトークイベント「誰もが輝ける社会へ～私たちのパラリンピックへの挑戦～」、伝統文化に関する講演会「私見 日本の美術」、リーダー講演会「誰もが楽しく働ける社会を作るための工程表」、健康・医療公開講座「ポジティブな認知症～当事者が語る新しい認知症のはなし～」、法律情報講演会「弁護士に聞く 知っておきたい相続の知恵」、東京文化財ウィーク2017参加企画展示「幕末の大奥と明治の皇城－和宮と昭憲皇太后－」関連講演会及び都市・東京公開講座「『東京』散歩学」（全3回）を実施した。

また、図書館全体を活用した謎解きイベント「Live-Rally」を2月から3月に実施した。

図書館ツアーやショートセミナー等の夜間開催、土・祝日開催を実施し、平日昼間には参加できない利用者層の参加を促した。

(エ) Webコンテンツの充実 【情報サービス課・資料管理課】

リニューアルした都立図書館ホームページにおいて、新たに「オリンピック・パラリンピックの世界」というコンテンツを用意し、「オリンピック・パラリンピックを読む」、「世界の国と地域を知る」など、都立図書館所蔵資料を活用してオリンピック・パラリンピックについて調べることができるなどを紹介している。

江戸・東京に関する貴重資料をデジタル化し、TOKYOアーカイブで、約9,600点の資料（錦絵、建築図面、絵葉書等）を新たに公開した。

江戸東京デジタルミュージアムでは、「落語」をテーマに、6点の貴重資料を解説付きで紹介した（日本語・英語両ページあり）。

(オ) 電子書籍サービスの拡充 【資料管理課】

各国事情や観光情報等の日本語コンテンツ約180タイトル、児童書等の英語コンテンツ約600タイトルを追加し、コンテンツの充実を図った（全1,806タイトル）。中央図書館では専用端末の館内展示時間を延長した。また、多摩図書館でも館内展示を開始した。

(カ) レファレンスサービスの向上 【情報サービス課】

7月と1月に統一事例日を実施してレファレンスサービスの検証・分析を行い、レファレンスのスキルアップを図った。

また、5月から7月にかけて、近隣の大学図書館10館を訪問し、聞き取り調査を行うとともに、当館のPRを行った。Eメールレファレンスについては、9月に受付対象を都内在住・在勤・在学に拡大するとともに登録利用者以外も申し込みるようにした。2月にはE

メールレファレンス利用者に対するアンケート調査を実施した。

(イ) 資料閲覧の利便性向上 【企画経営課】

都立間貸出実績等を元に、搬送方法の見直し検討及び業務改善を行った。また、利用促進のために、平成30年1月に東京都立図書館Facebook及びTwitterでネット予約（来館前に利用したい資料をWebで予約する閲覧サービス）をPRした。

(カ) 外国語資料の一層の充実 【資料管理課】

カザフスタン共和国国立アカデミック図書館から図書の寄贈の申し出（200冊）があつたことから、駐日カザフスタン大使、国立アカデミック図書館長等を招き、平成29年11月14日に中央図書館で「図書の国際交換に伴う贈呈式」を行った。都立図書館からは日本及び東京に関する図書101冊を贈呈した。

イ 次世代を育成する学校教育への支援

学校支援サービスの拡充 【企画経営課・情報サービス課・多摩図書館】

ガイドブック「都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド」を都立学校全校に配布したほか、Webページ化した。また、ホームページの「学校支援サービス」を整理・拡充した。校外学習の受入れを積極的に行った。

ウ 都政における施策推進への支援

政策立案支援サービスの拡充 【情報サービス課・多摩図書館】

都職員への貸出について、都庁交換便による直送方式へと変更し、利便性を向上させた。また、とちょう-iや全庁掲示板にサービス案内や事例紹介を掲載するとともに、全庁公開ポータル・リストに本サービスのページを作成し、案内窓口を作ることで都職員への広報を強化した。さらに、中央研修の主任パワーアップ研修、教育庁初任者研修等で利用ガイドを配布した。

エ 利用拡大に向けた戦略的広報

(ア) 情報発信の強化・多言語化 【企画経営課・多摩図書館】

平成30年3月に都立図書館ホームページを全面リニューアルし、デザインやサイト構成を刷新するとともに、SNSとの連携を強化した。また、運用管理受託者による翻訳を導入し、多言語による情報発信を隨時行えるようにした。

(イ) 戰略的広報の実施 【企画経営課】

第27期都立図書館協議会提言及び広報基本方針の内容を踏まえ、広報活動の刷新に向けた方策を検討し「都立図書館実行プラン to 2020」に盛り込んだ。また、SNSについては、統計データの分析を行い、媒体の特徴を生かした情報発信の在り方を検討した。

(ウ) 資料紹介コンテンツの活用 【企画経営課】

都立図書館の豊富で幅広い蔵書を紹介するSNSコンテンツ「司書のおすすめ本」を活用し、ブックレット第2弾を新たに作成したほか、資料紹介の展示及びホームページへの掲載を実施した。

オ 誰もが快適に利用できる図書館環境の構築

(ア) 快適な閲覧環境整備 【総務課・情報サービス課】

豊富な資料や司書によるレファレンスサービスを受けられる従来にはないセカンドオフィスや書斎としての機能を持つ「調査研究ルーム」を5階に設置した。また、隣接して、有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、リフレッシュできる「グリーンビューシート」を設置した。

(イ) 館内施設の整備及び貸出 【総務課】

「誰もが利用しやすい図書館」を目指して「キッズルーム（授乳室付き）」の設置等、

館内施設の整備を行った。また、アメリカ大使館の「パシフィックピッチ 日米野球外交」展や、「東京の未来の姿」展（教育庁指導部・生活文化局）、「アートキャラバン」展（教育庁指導部）などへ施設の貸出しを行った。

(2) 第27期都立図書館協議会提言に基づく事業の検討及び実施

第27期提言の事業化検討

「3か年重点目標」が平成29年度末で終了することから、第27期都立図書館協議会提言の内容を盛り込み、進行中の「都立図書館改善の方策」を包含した次期3か年の事業計画「都立図書館実行プラン to 2020」を平成30年1月に策定した。

(3) 都の施策及び第26期都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

ア 第三次東京都子供読書活動推進計画に基づく事業の実施

(ア) 都立学校向け選書支援 【多摩図書館】

学校での選書の参考としてもらうため、多摩図書館の豊富な蔵書から司書が選定して作成した、オリンピック・パラリンピック教育に役立つブックリスト及び11言語を追加した言語別ブックリストを都立図書館学校支援ページと東京都オリンピック・パラリンピック教育サイトに掲載した。

(イ) 外国語を母語とする子供の読書活動推進（英語多読棚の設置）【多摩図書館】

外国語を母語とする子供の読書活動を支援するとともに、子供の外国語や外国への理解を深めるため、英語の多読に適した図書の充実を図った。平成29年度に収集した資料をリストに追加し、都立図書館青少年ページ及び学校支援ページに掲載した。また、11月にNPO多言語多読との共催で「図書館多読への招待」 in 多摩を実施し、学校関係者及び図書館職員へ多摩図書館の取組について報告した。

(ウ) 「しづかなひととき」（東京都子供読書活動推進資料）改訂 【多摩図書館】

平成17年に発行した「しづかなひととき」を改訂し、わらべうたに関するページや掲載図書を追加した。区市町村立図書館全館への配布と、都立図書館ホームページへの全ページ掲載により、都民への情報提供を行った。

(エ) 読み聞かせ講座開催準備・特別支援学校読み聞かせボランティア養成準備【多摩図書館】

新任職員やボランティアを指導する立場にある区市町村立図書館職員を支援するため、「特別支援学校での読み聞かせ」をテーマに「子供の読書に関する講座Ⅱ」を実施した。終了後、絵本の選び方や読み聞かせの技術について伝授する、読み聞かせの基礎に関する講義も行った。

(オ) 生徒と図書館をつなぐ取組の拡充 【企画経営課・情報サービス課・多摩図書館】

高校生に本や図書館の魅力を伝える取組として、中央図書館・多摩図書館の両館で金原瑞人氏による「プロが教える！翻訳小説の世界＆翻訳ワークショップ」及びグループワーク「図書館の“中の人”体験」を計3回実施し、延33校72名の生徒が参加した。

イ 第26期都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

学校向け資料提供に向けた検討 【企画経営課・多摩図書館】

都立高等学校・中等教育学校等での読書や学習を支援するため、英語多読資料のセット貸出を多摩図書館において開始した。4校を対象に試験的に貸出しを行い、今後の取組に向けた検証のため、ヒアリングを実施した。

(4) 多摩図書館におけるサービス充実

ア 東京マガジンバンク

東京マガジンバンクカレッジの実施

「雑誌総合」「多摩」「鉄道」の3つのセクションを設け、年間を通じて講演会やセミナ

一、ワークショップ、現場探訪など、雑誌の魅力を「知る・創る・伝える」ための様々な活動を実施した。

イ 児童青少年資料サービス

(7) 小学生対象 季節のおはなし会及びスタンプカードの実施

小学生の読書促進のため、5、8、12月にストーリーテリングを中心としたおはなし会を実施した。おはなし会に参加、又は「こどものへや」の図書を1冊読むと、スタンプを押印するスタンプカードを作成して希望者へ配布し、読書への励みとしてもらった。夏休み期間中に自由研究講座も実施し、参加者へ科学の本を紹介した。

(イ) サービス対象別利用案内の作成・配布

利用者サービス向上のため、平成28年度作成の子供向け利用案内に引き続き、中高生世代と子供の本や子供の読書活動について研究する大人を対象とした利用案内を作成した。

III 予算・決算

1 平成30年度 予算

(千円)

項目	予算額			内 容
	30年度	29年度	増△減	
管理運営等	309,906 (11,900)	425,726 (14,069)	△ 115,820 (△ 2,169)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費
サービス事業	164,693 (7,977)	169,342 (7,887)	△ 4,649 90 ()	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	387,113 (4,059)	388,329 (3,953)	△ 1,216 (106)	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 [30年度購入計画] 1 図 書 ・一般成人用図書 27,900 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,116 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,500 冊 同上 (青少年) 2,450 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 41,096 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,211 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 290 種
電算システムの運営	144,623	147,254	△ 2,631	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,692 (1,292)	1,697 (1,385)	△ 5 (△ 93)	委員数 11名 定例会 年4回
業務委託	452,556 (130,299)	452,582 (130,299)	△ 26 (0)	都立図書館の資料出納及び複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	5,511	5,597	△ 86	・大規模企画展 年3回 ・講演会・セミナー等 年6回 ・企画展 年4回
計	1,466,094 (155,527)	1,590,527 (157,593)	△ 124,433 (△ 2,066)	

(注) ・予算額中の()は、給与関係費(報酬、共済費、賃金、旅費)で内数

2 平成29年度 決算

(円)

項目	決 算 規 模	予算額	決算額
I 管理運営等		425,726,000 (14,069,000)	315,377,904 (5,761,352)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21m ² 地上3階 延 8,982m ²		
2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館			
II サービス事業		169,342,000 (7,887,000)	160,771,961 (7,867,597)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 326日 入館者数 295,682人		
2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 326日 入館者数 215,706人		
III 資料収集・整理		388,329,000 (3,953,000)	379,344,583 (3,948,140)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館	1 図 書 (1) 新刊和書 25,884冊 (2) 既刊書688冊 (3) 洋書 3,881冊 (4) 中国語、韓国・朝鮮語図書 2,269冊 (5) 電子資料 9枚 (6) 児童書(和書) 3,610冊 (7) 青少年図書(和書) 2,628冊 2 逐次刊行物 (1) 新聞 173種 (2) 雑誌 4,249種 (3) 年鑑・年報(和書) 1,514冊 (4) 年鑑・年報(洋書) 243冊		
2 図書資料の整理			
3 修理保全			
4 藏書目録			
IV 電算システムの運営		147,254,000	144,600,426
V 図書館協議会		1,697,000 (1,385,000)	994,998 (761,950)
VI 業務委託		452,582,000 (130,299,000)	438,539,283 (122,133,248)
VII タイムリーな企画展		5,597,000	4,880,697
計		1,590,527,000 (157,593,000)	1,444,509,852 (140,472,287)

(注) ・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬、共済費、賃金、旅費)で内数

IV 統計資料（平成30年3月31日現在）

1 所蔵状況

(1)図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区分		中央図書館	多摩図書館	合計
日本語資料	一般書	1,325,381	261,153	1,586,534
	総記	56,014	8,811	64,825
	哲学	72,652	8,260	80,912
	歴史	189,867	15,335	205,202
	社会科学	362,268	33,958	396,226
	自然科学	127,167	12,510	139,677
	工学	143,462	15,090	158,552
	産業	99,423	7,938	107,361
	芸術	126,593	20,051	146,644
	言語学	27,049	4,788	31,837
	文学	120,886	134,412	255,298
	東京資料	235,849	5,583	241,432
	児童資料	0	172,743	172,743
	青少年図書	0	34,165	34,165
海外資料	洋書(特別文庫除く)	163,760	34,118	197,878
	一般書	162,130	13,964	176,094
	東京資料	1,630	15	1,645
	児童資料	0	20,138	20,138
	青少年図書	0	1	1
	中国語図書	69,008	4,566	73,574
	一般書	68,692	155	68,847
	東京資料	316	1	317
	児童資料	0	4,410	4,410
	青少年図書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	22,185	2,190	24,375
	一般書	21,927	50	21,977
	東京資料	258	2	260
	児童資料	0	2,138	2,138
	青少年図書	0	0	0
特別文庫		243,457	0	243,457
山本有三文庫		0	13,559	13,559
計		2,059,640	528,077	2,587,717

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区分			中央図書館			多摩図書館			合計			
			新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小計	新聞雑誌	児童青少年 資料				
新聞	日本語	継続	186	226	0	412	46	10	33	89	501	
		終刊・中断	241	384	45	670	83	19	0	102	772	
		小計	427	610	45	1,082	129	29	33	191	1,273	
新聞	外国語	継続	27	7	0	34	2	0	0	2	36	
		終刊・中断	46	14	0	60	2	1	0	3	63	
		小計	73	21	0	94	4	1	0	5	99	
計			500	631	45	1,176	133	30	33	196	1,372	
雑誌	日本語	継続	1,487	506	0	1,993	5,343	172	21	5,536	7,529	
		終刊・中断	2,083	1,584	255	3,922	11,336	711	0	12,047	15,969	
		小計	3,570	2,090	255	5,915	16,679	883	21	17,583	23,498	
雑誌	外国語	継続	71	8	0	79	395	20	0	415	494	
		終刊・中断	94	10	329	433	1,152	64	0	1,216	1,649	
		小計	165	18	329	512	1,547	84	0	1,631	2,143	
計			3,735	2,108	584	6,427	18,226	967	21	19,214	25,641	
マイクロフィルム (注2)		16 (15,802)	12 (1,577)	—	28 (17,379)	16 (10,567)	3 (13)	4 (152)	23 (10,732)	—	—	

(注1)冊数。p.12の「特別文庫所蔵数243,457冊」の内数。

(注2)下段()は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム		ビデオ テープ (巻)	LD・ DVD (枚)	スライド フィルム (組)	レコード・CD ()はCDで内数 (枚)	録音 テープ (巻)	航空写真 ネガフィルム (本)
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,202	264	5,761 (1,713)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料		点字資料	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デイジー			録音テープ	デイジー
中央図書館	3,601点	26,729巻	2,403点	2,427枚	674点	3,339冊
多摩図書館	3,175点	17,106巻	1,328点	1,328枚	406点	1,679冊

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R含む)
中央図書館	66,148点	9,316巻	6,444枚	32,245枚	3,783枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中心・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品等の英語コンテンツを導入し、専用端末により、館内で提供している。(多摩図書館は現在地に移転開館した平成29年1月29日からサービス開始。)

区分	オンラインデータベース 設置数	(種)		(タイトル)	
		区分	電子書籍 タイトル数	日本語コンテンツ	1,063
無料	33			英語コンテンツ	743
有料	1				

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料

(冊)

区分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購入	40,726 (6,393)
受贈	7,897 (413)
その他 (自館製作目録、加除式資料等)	54 (0)
計	48,677 (6,806)

(注)年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	4,616
-------------------	-------

(2) 逐次刊行物受入状況

(タイトル)

区分	年鑑年報	新聞		雑誌	
		中央	多摩	中央	多摩
購入	1,757 (243)	137 (23)	36 (1)	1,018 (103)	3,231 (366)
受贈	3,115 (31)	260 (11)	51 (1)	1,371 (24)	3,079 (83)
計	4,872 (274)	397 (34)	87 (2)	2,389 (127)	6,310 (449)

(注)()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	36,629	7,312	4,933	48,874

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修復	計
2,870	1,404	0	4,274

4 利用統計資料（平成29年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日数	月別入館者数	1日平均	開館日数	月別入館者数	1日平均	
平成29年 4月	28	22,376	799	28	20,542	734	42,918
5月	29	26,381	910	29	21,877	754	48,258
6月	19	16,916	890	19	14,061	740	30,977
7月	29	26,403	910	29	21,235	732	47,638
8月	29	26,468	913	29	20,546	708	47,014
9月	28	24,154	863	28	16,679	596	40,833
10月	29	24,213	835	29	16,191	558	40,404
11月	28	26,828	958	28	20,430	730	47,258
12月	26	24,144	929	26	14,979	576	39,123
平成30年 1月	26	24,247	933	26	15,662	602	39,909
2月	26	26,370	1,014	26	17,141	659	43,511
3月	29	27,182	937	29	16,363	564	43,545
計	326	295,682	907	326	215,706	662	511,388

イ 複写枚数

(枚)

区分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日数	月別複写枚数	1日平均	開館日数	月別複写枚数	1日平均	
平成29年 4月	28	97,989	3,500	28	14,684	524	112,673
5月	29	108,210	3,731	29	15,495	534	123,705
6月	19	77,394	4,073	19	11,638	613	89,032
7月	29	110,176	3,799	29	15,207	524	125,383
8月	29	117,370	4,047	29	18,842	650	136,212
9月	28	102,011	3,643	28	15,942	569	117,953
10月	29	96,739	3,336	29	13,027	449	109,766
11月	28	101,364	3,620	28	15,741	562	117,105
12月	26	106,818	4,108	26	14,295	550	121,113
平成30年 1月	26	98,319	3,782	26	17,364	668	115,683
2月	26	93,166	3,583	26	14,134	544	107,300
3月	29	94,898	3,272	29	15,501	535	110,399
計	326	1,204,454	3,695	326	181,870	558	1,386,324

ウ 藏書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、総合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

区分	蔵書検索数	統合検索利用件数	(件)		
			区分	蔵書検索数	統合検索利用件数
平成29年 4月	589,590	221,041	平成29年 10月	614,887	215,183
5月	615,160	231,060	11月	575,352	203,653
6月	562,024	221,202	12月	530,788	197,670
7月	643,486	216,685	平成30年 1月	614,584	197,893
8月	634,072	223,785	2月	622,702	190,818
9月	577,453	208,785	3月	842,850	206,749
計			計	7,422,948	2,534,524

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレンタル及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレンタルは、登録利用者以外も利用することができる。）

(人)	
区分	各月末現在の登録利用者数
平成29年 4月	3,593
5月	3,775
6月	3,960
7月	4,194
8月	4,409
9月	4,607

(人)	
区分	各月末現在の登録利用者数
平成29年 10月	4,789
11月	5,017
12月	5,227
平成30年 1月	5,500
2月	5,657
3月	5,844

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】　回答は当館ホームページに掲載。

- ・1964年に発売された東京オリンピック記念メダルの発売日と価格が分かる新聞記事を見たい。
- ・動物園等の動物は、どうやって輸送されているのか。
- ・都立高校入試の試験科目に英語が入ったのはいつか。
- ・著作権の切れたパブリックドメインの著作物の改題はどの程度まで認められているかが分かる資料はあるか。

ア 質問形態内訳

[都立図書館計]

区分	中央図書館		多摩図書館		計	(件)
	総 数	1 日平均	総 数	1 日平均		
口頭	31,290	96	15,645	48	46,935	
電話	24,660	76	4,726	14	29,386	
ファクシミリ	40	0	5	0	45	
文書	1,034	3	538	2	1,572	
Eメール	2,017	6	409	1	2,426	
計	59,041	181	21,323	65	80,364	

[中央図書館]

(件)

区分	情報サービス課 4担当	音声・映像 資料室	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口頭	29,900	22	1,145	223	31,290	326	96
電話	19,731	0	1,075	3,854	24,660	326	76
ファクシミリ	39	0	0	1	40	326	0
文書	692	0	36	306	1,034	326	3
Eメール	1,871	0	52	94	2,017	326	6
計	52,233	22	2,308	4,478	59,041	326	181

(注1) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が12,161件ある。

[多摩図書館]

(件)

区分	情報サービス 担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口頭	8,839	6,653	153	15,645	326	48
電話	4,139	315	272	4,726	326	14
ファクシミリ	0	5	—	5	326	0
文書	513	25	—	538	326	2
Eメール	78	157	174	409	326	1
計	13,569	7,155	599	21,323	326	65

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区分	ファクシミリ	Eメール	計
都内公立図書館	区立図書館	10	138
	多摩地区市町村立図書館	1	169
	島しょ図書館	0	2
	小計	11	309
その他	2	18	20
計	13	327	340

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内図書利用冊数

(冊)

中央図書館		多 摘 図 書 館				
年間	243,479	図 書	うち、児童図書	雑 誌	うち、児童雑誌	計
1 日 平均	747					
年間	32,551	(20,045)	149,562	(14,121)	182,113	
1 日 平均	100	(61)	459	(43)	559	

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 馆				
情報サービス課4担当	音声・映像資料室	特別文庫室	視覚障害者サービス室	計
4,188	0	353	36	4,577

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が 11,556件ある。

多 摘 図 書 館
1,948

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多 摘 図 書 館	計
レフアレンス件数	1,945	106	2,051
都庁内貸出冊数	927	27	954
複 写 枚 数	6,938	535	7,473

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

イ 復刻・翻刻

開室日数 (日)	閲覧者数 (人)		閲覧数 (冊)		複写関係						資料貸出		合計資料冊数		件 冊	
					撮影		即日複写		ネガ貸							
	人数	1日平均	冊数	1日平均	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	冊数	1日平均		
326	1,003	3	12,705	39	99	195	559	1,670	969	2,226	7	38	16,769	51	7 19	

(8) 音声・映像資料室利用状況

中央図書館音声・映像資料室では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、室内で視聴できる。

開室日数 (日)	利用者数 (人)	利用点数 (点)
326	1,301	2,235

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・ディジー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区分	登録者		対面音訳			テープ・ディジー資料					点訳			
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	テープ資料		ディジー資料		受付数	作成数 (冊)	貸出数	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)			点字 (冊)	F D (枚)
中央図書館	276	82	351	517	1,348	0	0	238 (495)	25 (26)	4,182 (4,185)	4	4 (20)	108 (150)	122 (123)
多摩図書館	102	18	234	339	953	7	0	25 (50)	89 (89)	1,792 (1,792)	2	2 (6)	18 (24)	0 (0)

(注1) デイジーとは、Digital Accessible Information System（デジタル録音図書）の略。

(注2) 貸出数の中には、借受け貸出し分も含む。

(注3) 作成数の中には雑誌・新聞（テープ、ディジー及び点訳）は含まない。

(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸し出している。

区分	(冊)		
	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合計
区立図書館	9,320	2,035	11,355
多摩地区市町村立図書館	57,901	3,831	61,732
島しょ図書館	632	0	632
計	67,853	5,866	73,719

イ 都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	68	84	18	19
多摩図書館	18	18	4	4
計	86	102	22	23

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区分	登録数	貸出	
		件数	点数
16 ミリ 映 画 フ ィ ル ム	団体	60	193 513 本
	特別団体	13	
	うち、 長期 貸島 出しよ う	—	12 120 本
	大島		0 0 本
	三宅		0 0 本
	八丈		1 6 本
	小笠原		13 126 本
	計	—	50 58 台
	映写機貸出	—	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区分	トップページ アクセス数
平成29年	75,770
	80,713
	76,525
	77,587
	77,990
	71,388
	72,973
	71,747
	69,555
	74,438
	65,160
	81,187
計	895,033

※平成30年3月16日のリニューアル以前の数値は、プログラム等による機械的なアクセスを含む。

(13) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員200名。100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム1	セミナールーム2
平成29年 4月	11	4	7
5月	13	6	4
6月	14	8	9
7月	16	10	6
8月	7	4	10
9月	7	4	6
10月	13	9	10
11月	18	6	8
12月	4	5	7
平成30年 1月	14	7	6
2月	13	3	2
3月	10	3	4
計	140	69	79

V 事業実績（平成29年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等・映画会）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会及び映画会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
東京文化財ウィーク2017参加企画展 「幕末の大奥と明治の皇城－和宮と昭憲皇太后－」		10月28日～11月12日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	6,675名
カザフスタン展		3月24日～6月11日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	10,792名
2017「青少年のための科学の祭典」東京大会in小金井		9月24日	東京学芸大学	-名
みなと区民まつり		10月7日～8日	増上寺・芝公園一帯	1,101名
国分寺まつり		11月5日	武蔵国分寺公園	852名
パシフィックピッチー日米野球外交－(写真パネル展)		6月2日～7月30日	中央図書館 多目的ホール	-名
中央図書館企画展示「『東京』いまむかし ～鉄道網の発達による賑わいの変遷～」		1月20日～3月11日	中央図書館 企画展示室	11,974名
シ リ ー ズ 展 示	「～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～世界のこともっと知ろう！」 第4回 アジアPart2編	5月15日～7月2日		3,342名
	「～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～世界のこともっと知ろう！」 第5回 ヨーロッパPart1編	7月10日～9月3日		5,541名
	「～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～世界のこともっと知ろう！」 第6回 ヨーロッパPart2 & アフリカPart1編	9月11日～10月15日		3,189名
	「～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～世界のこともっと知ろう！」 第7回 アフリカPart2編	11月27日～1月14日		4,382名
1 階 ホ ー ル 展 示	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示 「オリンピックと1964年～デザイン～」	5月12日～9月6日	中央図書館 1階ホール展示コーナー*	
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示 「オリンピックと1964年～デザイン2(建築)～」	9月8日～1月10日		
	オリンピック・パラリンピックコーナートピック展示 「平昌オリンピック・パラリンピック」	1月12日～3月28日		
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示 「日本の技術～オリンピック・パラリンピックと技術～」(3展示合同企画)	2月2日～5月9日		
	伝統・文化コーナー「和食の彩」	12月3日～7月5日		
	伝統・文化コーナー「歌舞伎入門」「東京を旅しよう」	12月27日～4月5日		
	伝統・文化コーナー「隅田川今昔-江戸東京の水辺文化-」「大相撲の歴史」	4月7日～10月4日		
	伝統・文化コーナー「和紙の魅力」	7月7日～1月10日		
	伝統・文化コーナー「深大寺と白鳳仏」「東京の庭園」「文楽」	10月4日～1月10日		
	伝統・文化コーナー「福づくし」「江戸・東京のあそび」	1月12日～1月31日		
	(三展示合同企画) 「日本の技術 木工・金工」	2月2日～5月9日		
	伝統・文化コーナー「雛の遊び」「江戸・東京の神社さんぽ」	2月2日～2月28日		
	伝統・文化コーナー「江戸・東京の手しごと」	3月2日～5月9日		
	Books on Japanコーナー「日本茶の世界 The world of Japanese tea」	5月12日～7月5日		
	Books on Japanコーナー「日本の夏 涼の演出 Japanese Cooling Traditions and Techniques in Summer」	7月7日～9月6日		
ト ピ ック 学 系 自 然 社 会	Books on Japanコーナー 「日本文化を体験しよう！ Experience Japanese culture!」	9月8日～11月1日		
	Books on Japanコーナー「新年を迎える Greet the New Year」	11月3日～1月31日		
	Books on Japanコーナー「日本の技術 ～匠 日本の伝統工芸 TAKUMI Japanese traditional craftworks～」	2月2日～5月9日		

展示内容等		期間	会場	来場者数
社会・自然科学系ミニ展示	企画展示関連「東京の『遊園地』いまむかし」	1月12日～3月11日	中央図書館 社会・自然科学系資料閲覧室*	
都市・東京情報コーナーミニ展示	「井の頭恩賜公園 もうすぐ開園100周年」	4月7日～5月10日	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
	「『ペット殺処分ゼロ』に向けて」(協力:福祉保健局)	5月12日～5月31日		
	「銀座の魅力再発見」	6月1日～7月5日		
	「東京の下水道を知る」	7月7日～8月2日		
	「東京の水族館を楽しむ」	8月4日～9月6日		
	「水害に備える 大正6年高潮から100年」	9月8日～10月4日		
	「東京を食べよう！」	10月6日～11月1日		
	「『TAMASHIMA』を楽しむ」	11月3日～12月6日		
	「日本最古の動物園 上野動物園」	12月8日～1月10日		
	企画展示関連「東京の『鉄道』いまむかし 地下鉄編」	1月12日～1月31日		
ビジネス展示情報	企画展示関連「東京の『鉄道』いまむかし 鉄道編」	2月2日～2月28日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	
	「東京タワー」	3月2日～4月4日		
	「プランディング入門」	5月12日～7月5日		
	「海外でのビジネスに備える」	7月7日～9月6日		
	「VR(仮想現実)で広がる可能性！」	9月8日～11月1日		
	「女性を応援！みんなの働き方改革」	11月3日～1月10日		
	「時代を見とおすリーダーシップ」関連展示 ※講演会と連動したトピック展示	1月12日～2月28日		
リーダーの本棚展示	「あの人の仕事術」	3月2日～5月9日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	
	「ビジネスコミックの魅力」	12月21日～6月11日		
	「リーダーの本棚(18)一出雲充／魚谷雅彦」	4月7日～5月10日		
	「リーダーの本棚(19)一橋本徹／北村雅良」	5月12日～6月12日		
	「リーダーの本棚(20)一吉永泰之／田口三昭」	6月23日～8月2日		
	「リーダーの本棚(21)一遠藤勝裕／松本紘」	8月4日～9月6日		
	「リーダーの本棚(22)一高橋則広／山本公一」	9月8日～10月4日		
	「リーダーの本棚(23)一加藤丈夫／西川信廣」	10月6日～11月1日		
	「リーダーの本棚(24)一辻庸介／竹増貞信」	11月3日～12月6日		
	「リーダーの本棚(25)一池辺晋一郎／近藤達也」	12月8日～1月10日		
法律情報ミニ展示	「リーダーの本棚(26)一檜原誠慈／重村博文」	1月12日～1月31日	中央図書館 法律情報コーナー*	
	「リーダーの本棚(27)一加藤宣明／大島まり」	2月2日～2月28日		
	「リーダーの本棚(28)一百嶋計／佐藤隆文」	3月2日～4月4日		
	「ネット時代の著作権」	5月12日～7月5日		
	「条約と国際社会」	7月7日～9月6日		
	「成年後見」	9月8日～11月1日		
健康・医療情報ミニ展示	「労働法から見る これからの働き方」	11月3日～1月10日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	
	「知っておきたい相続問題」	1月12日～2月28日		
	「新生活の住まいと暮らしに」	3月2日～5月9日		
	「油断大敵！みんなで防ごう食中毒」	5月12日～7月5日		
	「食べて健康になる薬膳」	7月7日～9月6日		
	「認知症と生きる」	9月8日～11月1日		

展示内容等		期間	会場	来場者数
トピック展示 人文科学系	「日米野球関連資料」	6月2日～7月30日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室 (入口)*	/
	「決定！芥川賞・直木賞」	7月22日～8月31日		
	ノーベル文学賞はカズオ・イシグロさん	10月6日～10月31日		
	「芥川賞・直木賞」	1月12日～2月28日		
	「朝倉響子」「佐藤明美・高峰秀子・松山善三」	1月12日～2月28日		
人文科学系ミニ展示	「はじめての現代アート」	5月12日～7月5日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	/
	「和の色・和の文様」	7月7日～9月6日		
	「紙わざの世界」	8月4日～11月1日		
	「クリスマスを読む」	11月3日～1月10日		
	「日本画の魅力」	1月4日～2月28日		
	「もっと知りたい！西郷隆盛」	3月2日～5月9日		
美術情報コーナー棚展示	「ピーテル・ブリューゲル」	4月7日～5月10日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	/
	「紙面の花を愛でる」	5月12日～5月31日		
	「根付を楽しむ」	6月2日～7月5日		
	「ボストン美術館」	7月7日～8月2日		
	「アルチンボルトとだまし絵」	8月4日～9月6日		
	「マンガ表現を読む」	9月8日～10月4日		
	「江戸琳派」を知る」	10月6日～11月1日		
	「ゴッホと日本」	11月3日～12月6日		
	「ジャポニスムを知ろう 印象派と葛飾北斎本」	12月3日～1月10日		
	「フィンランドのデザイン」	2月3日～2月28日		
	「2017 展覧会カタログ」	3月2日～4月4日		
トピック展示	「カザフスタン共和国国立アカデミック図書館寄贈図書展示」	11月14日～3月20日	中央図書館 4階閲覧室(入口)*	/
夏休み特別企画	マンガ×漫画×MANGA！	7月20日～8月30日	中央図書館 1階エレベータホール*	/
	てんじのてんじ(点字の展示)	7月24日～9月3日	中央図書館 3階エレベータホールと視覚障害者サービス室*	/
電子書籍端末展示	「TRC-DL」「NetLibrary」「都立図書館ホームページ」	4月1日～通年	中央図書館 中央ホール*	/
「司書のおすすめ本」展示		通年	中央図書館 カフェ横*	/
東京企画展示バンク	企画展示「雑誌解体！～ポピュラー文化とメディア変容～」(※中央大学と共に催)	5月12日～6月12日	多摩図書館展示エリア	5,779名
	企画展示「夏こそ、英語！」	6月23日～9月6日		13,810名
	企画展示「あなたの知らない鉄道？！」	9月8日～11月1日		11,606名
	企画展示「雑誌の未来を考える」	11月24日～3月15日		14,157名
	企画展示「アガる↑付録！」	3月30日～6月11日		13,830名
ミニ東京展示マガジンバンク	ウォール展示「追悼・渡邊慎也さん 明治・大正・昭和初期の創刊号」	5月12日～8月2日	多摩図書館雑誌エリア*	/
	ミニ展示「追悼：日野原重明さん」	7月20日～8月2日		
	ウォール展示「『装苑』1947-2017」	8月4日～10月4日		
	ミニ展示「東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会と都心の鉄道」	8月10日～8月23日		
	ミニ展示「豪雨を知る」	8月10日～8月23日		
	ミニ展示「将棋とAI(人工知能)」	8月24日～9月6日		
	ミニ展示「日本の文化財と世界遺産」	8月24日～9月6日		
	ミニ展示「陸上100mで日本人初の9秒台」	9月13日～9月26日		
	ミニ展示「祝・深大寺釈迦如来像 新国宝指定」	9月21日～11月1日		
	ミニ展示「イグノーベル賞と日本の科学者」	9月27日～10月10日		
	ミニ展示「祝ノーベル文学賞受賞 カズオ・イシグロ氏」	10月6日～11月1日		
	ウォール展示「日本の祭礼『山・鉾・屋台行事』」	10月6日～12月6日		

展示内容等		期間	会場	来場者数
ミニ展示「世界体操2017で金メダル」 ミニ展示「こどもの本と雑誌でわかる国分寺」※児童青少年資料も展示 ミニ展示「認知症と生きる」 ミニ展示「アートプロジェクト展にあわせて」 ミニ展示「羽生善治新竜王が史上初の永世7冠達成」 ミニ展示「ジャイアントパンダのシャンシャン公開」 ミニ展示「祝・第158回芥川賞・直木賞」 ウォール展示「世界の女性誌から～VOGUE～」 <移転オープン1周年記念>ミニ展示「とよかん」※児童青少年資料も展示 <移転オープン1周年記念>ミニ展示「映画フェスティバル」 ミニ展示「防災・災害について深く知る」 ミニ展示「冬季オリンピック・パラリンピックの魅力」 ミニ展示「将棋の羽生善治永世七冠、囲碁の井山裕太七冠が国民栄誉賞受賞」 ミニ展示「東京の未来の姿」	10月12日～10月25日 10月26日～11月13日 11月3日～11月30日 11月7日～11月16日 12月8日～12月20日 12月8日～1月10日 1月17日～1月25日 12月8日～2月4日 1月26日～2月18日 2月2日～2月11日 2月2日～2月11日 2月2日～3月25日 2月12日～2月28日 3月17日～3月23日	多摩図書館雑誌エリア*		
児童ミニ展示ビズ 「これならできる！自由研究」 「本で世界を旅しよう！ アジア」 「本で世界を旅しよう！ ヨーロッパ」 「本で世界を旅しよう！ アフリカ」 <移転オープン1周年記念>ミニ展示「とよかん」 「ほん・本・ごほん」 「ひとりでよめるよ」 「ウリボウたんていだん ～ほん・本・ごほんのなぞをとけ！～」	7月7日～9月6日 1月29日～7月5日 7月7日～1月10日 1月12日～7月4日 1月26日～2月18日 通年 通年 通年	多摩図書館児童エリア*		
青少年サービスミニ展示 「羅針盤」 「羅針盤II」 「扉をあけてII」 「学習応援棚」 「東京2020にむけて」 「世界への扉をあけて」 「意外と身近な政治・法律・裁判」 「こころと体」 「ようこそ本の森へ」 「はじまりのとき」 「空から落ち来るもの」 「金原瑞人さんの著作・翻訳本」 「涼しい夏のすごしかた」 「睡眠のすすめ」 「What if?」 「高校生ゴンクール賞＋高校生直木賞特集」 「2018年、犬に注目！」 <移転オープン1周年記念>ミニ展示「とよかん」 「ねこづくし」 「はじまりのとき」	通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年 4月1日～5月10日 4月1日～5月31日 6月1日～6月24日 6月25日～8月8日 8月8日～9月6日 9月8日～10月4日 10月6日～11月1日 11月3日～12月14日 12月16日～1月25日 1月26日～2月18日 2月9日～3月24日 3月25日～4月（予定）	多摩図書館青少年エリア*		
スポット展示 「TAMA selection」 「英語多読棚」	通年 通年	多摩図書館青少年エリア*		
児童ミニ展示書 「あの人を知るための『扉』」児童文学作家案内 こどもと本とゆっくり向きあう <移転オープン1周年記念>ミニ展示「とよかん」 アーシュラ・K. ル＝グワイン追悼展示 昔話絵本で世界を巡る	9月8日～ 1月26日～2月18日 1月29日～3月31日 5月12日～	多摩図書館児童研究書エリア*		
共催事業 「ペンシルロケットの発射実験の日」	4月12日	多摩図書館エントランスホール		

*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区分		日程	会場	参加者数
企画展示関連講演会	東京文化財ウィーク2017「幕末の大奥と明治の皇城－和宮と昭憲皇太后－」関連講演会「江戸の町から江戸城へ～新出大奥図面の世界」	11月4日	中央図書館	99名
		11月4日	中央図書館	99名
シリーズ展示関連講座 アフリカ講座	中部アフリカで見たこと・感じたこと (元・コンゴ民主主義共和国大使 高倍宣義氏)	12月2日	中央図書館 企画展示室	26名
	アフリカの人々の生活と文化について (元・ギニア大使 富田義孝氏)	12月5日		18名
	世界一やさしいアフリカ基礎講座 (元UNIDO職員 萩原孝一氏)	12月9日		33名
	鳥の眼と蟻の眼で見るアフリカ (元・モザンビーク大使 橋本栄治氏)	12月13日		27名
	描きながら考えたアフリカ(原画展ギャラリートーク) (OSAジャパン代表、建築家 坂田泉氏)	12月16日		28名
	南部アフリカの人はどんな暮らしをしているのか (元・ジンバブエ大使 福田米蔵氏)	12月19日		32名
ビジネス情報サービス	ビジネスリーダー講演会 「脱近現代 多様性のある世界のために」(落合陽一氏)	9月30日	中央図書館 (同時中継あり)	196名
	リーダー講演会 「誰もが楽しく働ける社会を作るための工程表」(長谷川眞理子氏)	1月27日	中央図書館	69名
	ビジネスリーダー講演会 「時代を見とおすリーダーシップ」(出口治明氏)	2月28日	中央図書館 (同時中継あり)	148名
健康・医療情報サービス	健康・医療情報公開講座 トーキイベント「ポジティブな認知症～当事者が語る明るい認知症のはなし～」	2月24日	中央図書館	101名
法律情報サービス	法律情報講演会 「弁護士に聞く 知っておきたい相続の知恵」(竹川忠芳氏)	3月18日	中央図書館	117名
情報都市サービス 東京	公開講座 「『東京』散歩学」第1回「沿線案内図に見る東京の鉄道発達史」	2月4日	中央図書館 (同時中継あり)	151名
		2月10日	中央図書館 (同時中継あり)	162名
		2月18日	中央図書館 (同時中継あり)	131名
オリンピック・パラリンピックに関する講演会	トーキイベント「誰もが輝ける世界へ～私たちのパラリンピックへの挑戦～」	12月3日	中央図書館	96名
伝統文化に関する講演会	「私見 日本の美術」(山口晃氏)	1月21日	中央図書館 (同時中継あり)	192名
	震災対策・水道事業関連図書展示+地域水道キャラバン「震災への水道の備え」	11月30日	中央図書館	20名
記念トーキイベント	多摩図書館1周年記念トーキイベント 「あなたが輝く言葉とメロディ」	1月28日	多摩図書館	171名
東京マガジンバンクカレッジ	ワークショップ連続講座「雑誌をつくるワークショップ」	5月26日、6月16日、7月7日	多摩図書館	22名
	講演会「江戸から東京へ-多摩万華鏡-」	5月28日	多摩図書館	119名
	講演会「旅と鉄道』の再生と復刊」	6月11日	多摩図書館	97名
	地域散歩「多摩を歩く～江戸から東京へ散歩～ 夏」	6月25日	多摩地域(八王子、日野、立川等)	15名
	講演会「甲武鉄道と中央線の歴史に日本の鉄道技術の原点を探る」	10月29日	多摩図書館	88名
	地域散歩「多摩を歩く～江戸から東京へ散歩～ 秋」	11月5日	多摩地域(羽村、福生、小金井等)	18名
	連続セミナー「雑誌の過去・現在・未来」第1回 「雑誌黄金時代に学ぶ～人生を変えた2誌『サライ』と『BEPAL』を中心に～」	11月19日	多摩図書館	35名
	連続セミナー「雑誌の過去・現在・未来」第2回 「役に立つ雑誌、とは？」	12月17日	多摩図書館	43名
	現場探訪「鉄道総研で雑誌『RRR』の魅力を知ろう！」	12月20日	公益財団法人 鉄道総合技術研究所	16名
	連続セミナー「雑誌の過去・現在・未来」第3回 「雑誌の再起動」	2月4日	多摩図書館	42名
	現場探訪「雑誌『多摩のあゆみ』の魅力に迫る」	2月21日	公益財団法人たましん地域文化 財団歴史資料室、たましん歴史・ 美術館	25名
子供読書活動推進事業	「これならできる！自由研究講座 ～強い形をさがせ！～」	8月5日	多摩図書館	17名
	こども工作会「かいぶつだいこうしん」	11月5日	多摩図書館	40名
	第4回シンポジウム「図書館多読への招待」in多摩 (特定非営利活動法人多言語多読と共に催)	11月12日	多摩図書館	64名
	第37回わんぱく学校見学受入れ (国分寺市教育委員会主催)	12月17日	多摩図書館	30名
	図書館ひみつ探検隊(移転オープン1周年記念)	1月28日、2月4日、11日	多摩図書館	111名

区分		日程	会場	参加者数
子供読書活動 推進事業	乳幼児対象おはなし会「わらべうたの会」	4~3月	多摩図書館	延645名
	乳幼児対象おはなし会「ウリボウの会」	4~3月	多摩図書館	延654名
	小学生対象おはなし会	5月、8月、12月	多摩図書館	53名
図書館見学ツアー	図書館見学ツアーアー ^(通常ツアーアー3回、ナイトツアーアー2回、江戸期資料見学ツアーアー14回、本の修復見学ツアーアー4回、美術を知るツアーアー1回、Library Tour in English 2回)	7月~3月(全26回)	中央図書館	270名
	バックヤードツアーアー ^(通常ツアーアー7回、移転オープン1周年記念2回、東京マガジンバンクカレッジパートナー対象1回)	7月~2月	多摩図書館	148名
オンラインデータベース 検索講習会 (オンラインデータベースやCD-ROMの情報検索方法の説明)	ビジネス情報検索ショートセミナー	4月~3月(17回)	中央図書館	85名
	法律情報検索ショートセミナー	4月~3月(4回)		14名
	健康・医療情報検索ショートセミナー	4月~3月(4回)		11名
	都市・東京情報検索ショートセミナー	4月~3月(6回)		26名
	検索ショートセミナー ^(美術情報、人物情報、文学情報、図書館利用案内)	4月~3月(9回)		20名
	新聞記事検索ショートセミナー	4月~3月(2回)	多摩図書館	7名
	雑誌記事検索ショートセミナー	4月~3月(2回)		5名
	新聞記事、事典類等検索ショートセミナー	6月~3月(5回)		15名
	雑誌記事検索ショートセミナー	6月~3月(5回)		25名
	図書館での調べ方案内	6月~3月(4回)		22名
電子書籍サービス講習会	電子書籍サービスショートセミナー	4月~3月(2回)	中央図書館	5名
謎解きイベント	Live-Rally「運命をつなぐ物語」(事前申込み制)	2月16日(2回)	中央図書館	436名
	Live-Rally「運命をつなぐ物語」(自由参加)	2月23日~3月15日(20日)	中央図書館	1,232名
アメリカ大学・大学院留学説明会	アメリカ留学、はじめの一歩!	8月19日	多摩図書館	43名
	アメリカ留学、はじめの一歩!	2月12日	中央図書館	127名

(3) 映画会（多摩図書館）

区分	内 容	日程	開催回数	参加者数
定例映画会	劇映画「遙かなる甲子園」	4月9日	1回	12名
	ドキュメンタリー「東京オリンピック特集」 ①読売国際ニュース817号②「東京オリンピックへの道」	4月20日	1回	42名
	劇映画「二十四の瞳」	5月7日	1回	46名
	ドキュメンタリー「武蔵野の風景」 ①歴史を調べる ②武蔵野 ③武蔵の國の仏たち	5月18日	1回	44名
	劇映画「鉄道員」	6月4日	1回	76名
	ドキュメンタリー「わたしたちの鉄道」①あすをひらく東西線 ②振動の世界 ③ローカル線 生活の中の鉄道	6月21日	1回	13名
	「カナダ建国150周年記念映画会1」ドキュメンタリー ①カナダよ 劇映画「ノーマン・マクラレン作品」特集 ②開会の辞:マクラレン ③プリンティ・プランク ④ベン先の音 英語版 ⑤幻想 ⑥過去のつまらぬ気がかり ⑦シンクロミー ⑧バレー・アダジオ ⑨椅子と青年	7月2日	1回	37名
	「カナダ建国150周年記念映画会2」ドキュメンタリー ①多様な国カナダ ②グレン・グールドのトロント	7月20日	1回	50名
	アニメ「海底超特急マリンエクスプレス」	8月6日	1回	53名
	劇映画「絵の中のぼくの村」	8月17日	1回	29名
特別上映会	「夏休み子供映画会」 ①忍たま乱太郎 パート2 ②忍たま乱太郎 パート3	8月20日	1回	95名
定例映画会	劇映画「地下水道」(アンジェイ・ワイダ監督1周忌)	9月3日	1回	54名
	劇映画「灰とダイヤモンド」(アンジェイ・ワイダ監督1周忌)	9月21日	1回	55名
	劇映画「野ばら」	10月1日	1回	84名
	ドキュメンタリー「オランダ絵画と浮世絵」 ①ゴッホ ②バルビゾン派をめぐる画家たち ③オランダ絵画の黄金時代 ④浮世絵の美 ⑤富嶽三十六景	10月19日	1回	62名
	アニメ「海洋アニメ特集」①海底二万哩 ②小さなバイキングビッケ ビッケと親子クジラ ③小さなバイキングビッケ ビッケと大あざらし	11月5日	1回	169名
	ドキュメンタリー「沈黙の世界」	11月16日	1回	60名
	アニメ「レイモンド・ブリッッグス特集」 ①ファーザー・クリスマス ②スノーマン	12月3日	1回	117名
	劇映画「クリスマス・ツリー」	12月21日	1回	36名
	アニメ「時の支配者」	1月7日	1回	39名
	ドキュメンタリー「宇宙へのフロンティア」	1月18日	1回	31名
映画フェスティバル	①劇映画「はやぶさ 遙かなる帰還」 ②アニメ「魔女の宅急便」 ③劇映画「ニュー・シネマ・パラダイス」	2月11日	3回	274名
定例映画会	劇映画「鉄道員(ぼっぽや)」	3月4日	1回	91名
	ドキュメンタリー「都電物語」①都電荒川線 ②都電物語 ③わが道をゆく—都電32系統— ④都電22番線 ⑤都電 ⑥都電その後	3月15日	1回	69名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名			会 場	回数	修了者数
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「美術情報」	中央図書館		1回	26名
		テーマ別研修「東京情報」			1回	37名
		テーマ別研修「健康・医療情報」			1回	30名
		テーマ別研修「法律情報」			1回	29名
		テーマ別研修「新聞雑誌情報」			1回	31名
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ（全3日間）	多摩図書館		1回	117名
		児童図書館専門研修Ⅱ			1回	54名
		児童図書館専門研修Ⅲ オプション「読み聞かせの基礎」			1回	45名
	障害者サービス研修	初級研修（全6日間）	多摩図書館		1回	26名
		中級研修（全6日間）			1回	25名
		専門研修			1回	15名
製本研修	製本研修	中央図書館			2回	43名
講師派遣	聞きやすい音訳とは（11月8日）	西東京市保谷駅前図書館（1名派遣）			1回	52名
	音訳者連絡会・勉強会（2月8日）	昭島市民図書館（1名派遣）			1回	10名
	レファレンス中級研修（健康・医療情報）（2月22日）	世田谷区立中央図書館（2名派遣）			1回	23名
	平成29年度多摩地区図書館児童サービス研究会第2回定例会 「ブックトーク」について（11月21日）	国分寺市立本多公民館（2名派遣）			1回	67名
	おはなしボランティア養成講座（2月9日）	昭島市民図書館（2名派遣）			1回	30名
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会	中央図書館			2回	113名
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会	中央図書館			3回	141名
	障害者サービス事務担当者連絡会	中央図書館			1回	72名
	児童・青少年サービス担当者会（合同開催）	多摩図書館			1回	97名
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回（10月26日）	荒川区立ゆいの森あらかわ	1回	42名
			第2回（11月9日）	新宿区立下落合図書館	1回	39名
		講演会	第1回（7月7日）	中央図書館	1回	54名
			第2回（2月6日）		1回	48名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回（7月28日）	中央図書館	1回	36名
			第2回（1月31日）		1回	37名
	協力事務担当者会	第1回（5月31日）	多摩図書館		1回	96名
		第2回（11月29日）	中央図書館		1回	70名

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研 修 名	主 催 者	派遣者数	回数	修了者数
講師派遣	聴覚障害者社会教養講座（7月6日、14日）	東京都教育委員会	1名	2回	24名
	児童図書館員養成専門講座（9月29日）	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	13名
事例発表	平成29年度東元町文庫・もとまち図書館共催講演会（10月22日）	国分寺市東元町文庫・もとまち図書館	2名	1回	30名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第三次東京都子供読書活動推進計画」（平成27年2月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンス支援サービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 109件
(授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等)

(イ) 子供の読書に関する相談 80件

(子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等)

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
文京区立音羽中学校(1年 6名)、町田市立木曾中学校(1年 5名)、 東京学芸大学附属竹早中学校(2年 1名)、宮城県気仙沼市立津谷中学校(3年 6名)、 岩手県洋野町立大野中学校(3年 3名)、岩手県軽米町立軽米中学校(3年 6名)、 都立葛飾総合高等学校(2年 5名)、新潟県立津南中等教育学校(5年 2名)	中央図書館	8校	34名
都立芦花高等学校(1年 1名)	多摩図書館	1校	1名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、受付、資料の出納、整架及び本の紹介などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
中野区立第十中学校(2年 3名)、小笠原村立母島中学校(3年 1名)、 都立白鷗高等学校附属中学校(2年 4名)、都立桜修館中等教育学校(2年 4名)	中央図書館	4校	12名
小平市立小平第四中学校(2年 3名)、国分寺市立第三中学校(2年 3名)、 都立富士高等学校附属中学校(2年 2名)、都立立川国際中等教育学校(2年 3名)、 都立武蔵台学園(高等部1年 2名)、都立小金井特別支援学校(中学部1年 21名)	多摩図書館	6校	34名

エ 校外学習の受入れ

学校からの申込みを受け、実施した。中央図書館では、主に図書館を利用した文献調査方法の説明及び館内見学を行った。多摩図書館では、小学校向けには主に見学や調べ学習など、中学校・高校向けには主に見学やインタビューなど、特別支援学校（学級）向けにはおはなし会や見学などを行った。

	受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
(中学校)	慶應義塾中等部(3年3名)、広尾学園中学校(2年 300名 *、3年 301名 *)	中央図書館	2校	604名
(高校)	都立杉並総合高等学校(3年 7名)、都立小山台高等学校(1年 320名 *)、 日出高等学校通信制課程(40名)、田園調布学園高等部(3年 40名)		4校	407名
(小学校)	国分寺市立第一小学校(3年 72名、6年 63名)、国分寺市立第三小学校(3年 138名)、国分寺市立第四小学校(1年 133名、5年 143名)、 国分寺市立第五小学校(3年 61名)、国分寺市立第六小学校(6年 89名)、 国分寺市立第九小学校(6年 81名)、国分寺市立第十小学校(6年 66名)、 早稲田実業学校初等部(3年 108名)	多摩図書館	8校	954名
(中学校)	国分寺市立第二中学校(1年 5名)、 西東京市立ひばりが丘中学校読書部(12名)、早稲田実業学校中等部(7名)		3校	24名
(高校)	都立西高等学校図書委員会(10名)、都立清瀬高等学校図書委員会(11名)、 立川女子高等学校文芸部(8名)		3校	29名
(特別支援学校及び特別支援学級)	都立小金井特別支援学校(14回 延159名)、都立武蔵台学園(2回 延33名)、 国分寺市立第二中学校特別支援学級(13名)、 国分寺市立第四小学校特別支援学級(12名)		4校	217名

(注) *広尾学園中学2年は5日間、3年は3日間、都立小山台高校は3日間に分けて受入れ。人数は全日数の合計。

才 生徒と図書館をつなぐ取組

中高生の参加を募り、図書館や読書に関する、ワークショップ、講演会等を行った。

内容（実施日）	実施場所	参加校数	参加者数
図書館の”中の人”体験(8月1日)	中央図書館	9校	21名
プロが教える！翻訳小説の世界&翻訳ワークショップ(12月17日)		9校	22名
プロが教える！翻訳小説の世界&翻訳ワークショップ(7月15日)	多摩図書館	15校	29名

力 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等	主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(中学校) 広尾学園中学校(2年 300名、3年 301名)	出張講義	中央図書館	1校	601名
(小学校) 大田区立池上第二小学校、渋谷区立中幡小学校、昭島市立成隣小学校、国分寺市立第九小学校、福生市立福生第七小学校、利島村立利島小中学校	資料貸出		6校	-
	出張ブックトーク		1校	105名
(中学校) 羽村市立羽村第一中学校 大田区立矢口中学校	出張ブックトーク		1校	400名
	資料貸出		1校	-
(中高一貫教育校) 都立両国高等学校附属中学校	モバイル・ライブラリー(英語多読資料のセット貸出)		1校	-
(高校) 都立世田谷総合高等学校、都立小平西高等学校 都立立川高等学校定時制、都立国分寺高等学校 都立三宅高等学校 都立第五商業高等学校 都立三田高等学校、都立小川高等学校、都立国分寺高等学校	出張読み聞かせ講座		2校	55名
	出張ブックトーク		2校	173名
	選書支援		1校	-
	資料貸出		1校	-
	モバイル・ライブラリー(英語多読資料のセット貸出)		3校	-
(特別支援学校及び特別支援学級) 都立久我山青光学園(7回 延73名)、都立八王子盲学校(1回 9名)、都立立川ろう学校(1回 25名)、都立品川特別支援学校(2回 延157名)、都立青鳥特別支援学校(1回 12名)、都立中野特別支援学校(1回 170名)、都立永福学園(1回54名)、都立八王子特別支援学校(1回 164名)、都立八王子東特別支援学校(1回 50名)、都立青峰学園(1回 17名)、都立武藏台学園(2回 43名)、都立調布特別支援学校(1回 11名)、都立七生特別支援学校(1回 256名)、都立多摩桜の丘学園(1回 126名)、小平市立花小金井南中学校(2回 延42名)	出張おはなし会	多摩図書館	15校 1,209名	
	図書館整備支援		1校	
	学校図書館選書等相談会		3校	
	資料貸出		5校	

(注) ()内の記載について…小学校・中学校・高校・中等教育学校は、対象学年と参加者数を記載。
特別支援学校及び特別支援学級は、実施回数と参加者数を記載。

キ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布 4,111部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ひとりでよめるよ」「えほんかるた」「ほん・本・ごほん」「ほん・本・ごほんクイズ」「ほん・本・ごほんブックトークシナリオ」

ク 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
八王子市教育委員会	学校司書研修会 「中学校での情報活用支援について」(1月30日)	中央図書館	30名
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動Ⅰ(7月25日)		200名
府中市立小中学校教育研究会学校図書館部研究会	府中市立小中学校教育研究会学校図書館部研究会「ブックトークで本の世界を広げよう」(12月13日)		17名
足立区教育委員会	学校図書館支援員研修会「学校図書館の選書にあたり知っておきたいこと ノンフィクションを選ぶ」(12月19日)	多摩図書館	35名
府中市立府中第二小学校	第15回読み聞かせ・図書館ボランティア交流会 「読み聞かせについて」(1月30日)		60名
杉並区教育研究会中学校部会 学校図書館部会	ブックトークの実践 その方法(2月24日)		20名
東京都特別支援学校長会	人材育成講習会 多摩図書館の支援事業と児童青少年資料サービスについて(12月9日)		59名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研修名	会場	回数	修了者数
実務研修	転入職員等研修	中央図書館	1回	20名
	新任司書職員研修 (前期)	中央図書館	1回	1名
	(後期)	中央図書館・多摩図書館	1回	5名
	「SNSを活用して効果的に広報するには」	中央図書館	1回	87名
	非常勤職員研修	多摩図書館	2回	25名
	製本研修 I	中央図書館	1回	14名
	II		1回	13名

区分	研修名	主催	日数	修了者数
派遣研修	新任図書館長研修	文部科学省・筑波大学・国立教育政策研究所・(公社)日本図書館協会	4日間	1名
	レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1日間	1名
	関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省	4日間	2名
	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	3日間	1名
	レファレンスサービス研修－経済社会情報を中心に－	国立国会図書館	2日間	1名
	法律図書館連絡会基礎講座	法律図書館連絡会	1日間	1名
	医療・健康情報サービス研修会	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	2日間	1名
	アジア情報研修	国立国会図書館・アジア経済研究所	2日間	2名
	日本子どもの本研究会全国大会	日本子どもの本研究会	2日間	1名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2日間	1名
	全国公共図書館研究集会 児童青少年部門	(公社)日本図書館協会	2日間	2名
	日本古典籍講習会	国文学研究資料館、国立国会図書館	4日間	1名
	京都大学人文科学研究所TOKYO漢籍SEMINAR	京都大学人文科学研究所	1日間	1名
	サピエ研修会	全国視覚障害者情報提供施設協会	2日間	1名
	障害者サービス担当職員養成講座(基礎コース)	(公社)日本図書館協会	3日間	2名
	マルチメディアDAISY製作特別研修	日本障害者リハビリテーション協会	2日間	1名
	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書館	3日間	1名
	文化財の虫菌害・保存対策研修会 第39回	(公財)文化財虫菌害研究所	2日間	1名
	保存フォーラム 第28回	国立国会図書館	1日間	2名
	資料保存シンポジウム 第11回	情報保存研究会・(公社)日本図書館協会	1日間	3名
	デジタル情報記録アドバイザー講座	(一社)デジタル情報記録管理協会	1日間	2名
	資料デジタル化研修	国立国会図書館	1日間	1名
	データベース基礎	株式会社富士通ラーニングメディア	2日間	1名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	2日間	2名
	著作権セミナー	文化庁著作権課	1日間	2名
	ソーシャルメディア活用セミナー	日本広報協会	1日間	2名
	SNS運用担当者養成講座	株式会社宣伝会議	1日間	1名
	全国図書館大会	(公社)日本図書館協会	1日間	5名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（平成29年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 平成29年度版	平成29年7月	800部
東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 187～No. 192	平成29年5月～平成30年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 56～No. 58	平成29年6月～平成30年2月	各250部
司書のおすすめ本 2	平成29年9月	2,000部
都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド 第2版	平成29年7月	5,000部
【多摩図書館】		
しづかなひととき 乳幼児に絵本の読み聞かせを 改訂版	平成30年2月	6,000部
東京マガジンバンクカレッジ 多摩を歩く～江戸から東京へ散歩～ 夏・秋	平成29年8月 平成30年1月	各300部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	平成29年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集 冊子版	平成26年6月5日	150円	152部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点（冊）を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料（ア）、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書（イ～ケ）、③寄託・寄贈資料など（コ～セ）からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数（冊数）には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点（冊）

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長禄年代（1450年代）から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点（冊）

加賀豊三郎氏（1872-1982）の旧蔵書で、和書、古文書、石牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士諸橋徹次氏（1883-1982）旧蔵の和漢書、経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣（昭和15）河田烈氏（1883-1963）の旧蔵書で、祖父河田迪斎から代々集積

れた書籍である。曾祖父に当たる佐藤一斎の「愛日樓全集」56巻の写本、「言志錄」の稿本、一斎自筆の日記「腹脣」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村瓊次郎氏（1864-1947）の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとって貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎（翼軒）氏（1885-1944）旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤恵秀氏（1896-1985）の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収藏する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造（刀水）氏（1874-1965）が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点（冊）

戦時特別買上図書のうち、上記イ～ク以外の30余氏の旧蔵書である。

（ア）国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫（安藤正次氏旧蔵）の落合直澄旧蔵書、文学関係資料には池田文庫（池田亀鑑氏旧蔵）の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫（蜂屋茂橘氏旧蔵）の草双紙類600余点がある。

（イ）国書 総記・その他 約10,000点（冊）

岡文庫(岡千仞[鹿門]氏旧蔵)の稿本類、反町文庫(反町茂雄氏旧蔵)の仏教関係古写本、中山文庫(中山久四郎氏旧蔵)の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫(宍戸昌氏旧蔵)の海雲楼博物雑纂ほかがある。

(イ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫(岩垂憲徳氏旧蔵)、蜂屋文庫、横山文庫(横山健堂氏旧蔵)にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だってはいないが、中には希観なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤廉平氏(1848-1921)の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和6年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和20年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一(青淵)氏(1840-1931)が創始した文庫で、大正12年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏(1896-1963)がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和38年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

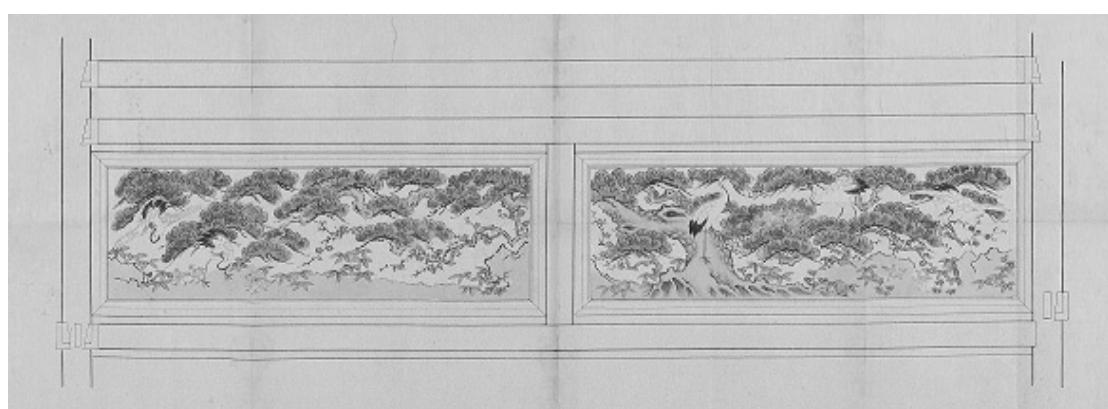
中山太郎氏(1876-1947)が収集した、正保2(1645)年から大正4(1915)年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝來の資料で、1975年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,600 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



▲ 御対面所御下段御二之間境御欄間鶴巣籠御彫物繪圖 請求記号：和別305

平成27・28年度に、小普請方大工・豊田家が受け継いできた、本丸御殿、西丸御殿、二丸御殿の大奥の資料群を新たに収蔵しました(豊田家文書)。上記資料はそのうちの1点で、万延元(1860)年の江戸城本丸御殿大奥、対面所下段と二之間境の内法長押上に彫った彫物欄間の絵図と思われます。老松の下で、鶴が巣籠もりしている様子が鮮やかに描かれています。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約238,100冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約630種、雑誌は約2,090種である。

「TOKYOアーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約163,800冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。）がある。

国際化に対応し、在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他国の観光、都市計画、防災、福祉に関する資料、オリンピック関連資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約69,000冊がある。

1972年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわ

たっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約22,200冊がある。

1975年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約13,500冊、雑誌約300誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、平成30年3月末現在約7,700誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することで時代の流れが見えるもので、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約233,000冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約6,500冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬のちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

VII 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第14条及び東京都立図書館条例第3条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第28期東京都立図書館協議会について

第28期の図書館協議会は平成29年7月1日に設置された。「これからの中立図書館に必要な利用環境について－多様な学びや活動を支える機能－」をテーマとして協議を行い、平成29年度は定例会を3回、部会を2回開催した。

<定例会>

第1回（平成29年7月25日開催）

- (1) 協議テーマの決定
- (2) 今後の協議の進め方及び作業部会の設置
- (3) 今後の協議スケジュール

第2回（平成29年12月21日開催）

- (1) 多様な学習形態や利用スタイルに応じた利用環境について（第1回学習・利用形態部会報告）
- (2) 平成28年度東京都立図書館自己評価について

第3回（平成30年3月9日開催）

- (1) 多様な学習形態や利用スタイルに応じた利用環境について
- (2) 都立図書館実行プラン to 2020について

<学習・利用形態部会>

第1回（平成29年10月16日開催）

第2回（平成30年2月5日開催）

3 第28期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 平成29年7月1日～平成31年6月30日）

氏 名	職 名 (平成30年5月現在)	※五十音順
内 田 剛 史	株式会社ミュージアムメディア研究所代表取締役	
小 田 光 宏	青山学院大学教育人間科学部教授	
鎌 倉 幸 子	アカデミック・リソース・ガイド株式会社 リレーションズ・ストラテジスト	
川原田 康 子	有限会社k w h g アーキテクツ代表取締役	
古 川 正 之	小平市教育委員会教育長	
坂 口 雅 樹	元明治大学学術・社会連携部和泉図書館事務長	
笹 のぶえ	東京都立三田高等学校長	
富 澤 良 子	ライター	
豊 岡 弘 敏	渋谷区教育委員会教育長（平成30年5月～）	
中 井 孝 幸	愛知工業大学工学部教授	
松 本 直 樹	慶應義塾大学文学部准教授	
森 富 子	渋谷区教育委員会教育長（～平成30年3月）	

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期間	答申等年月	答申等
第1期	昭和35年2月 ～昭和37年1月	昭和37年2月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第2期	昭和37年2月 ～昭和39年1月	昭和38年7月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第4期	昭和41年3月 ～昭和43年2月	昭和43年2月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第6期	昭和45年4月 ～昭和47年3月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第8期	昭和47年7月 ～昭和49年6月	昭和49年6月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスの あり方 (答申)
第11期	昭和55年9月 ～昭和57年9月	中間答申 昭和56年6月 最終答申 昭和57年5月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第15期	昭和63年10月 ～平成2年10月	中間答申 平成2年3月 最終答申 平成2年10月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第16期	平成3年1月 ～平成5年1月	平成4年12月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第17期	平成5年4月 ～平成7年4月	平成7年3月	都立中央図書館における当面の海外資料サービス のあり方について (意見具申)
第18期	平成7年7月 ～平成9年7月	平成9年3月	21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第19期	平成9年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか? －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスの あり方 －ＩＴを活用したサービスの革新－ (提言)
第21期	平成14年4月 ～平成16年3月	平成15年3月 平成16年2月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は 何をすべきか (提言1) 都内公共図書館発展のための連携協力について (提言2)
第22期	平成16年10月 ～平成18年9月	平成18年3月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第24期	平成21年5月 ～平成23年4月	平成23年3月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第25期	平成23年5月 ～平成25年4月	平成25年3月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第26期	平成25年5月 ～平成27年4月	平成27年3月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第27期	平成27年7月 ～平成29年6月	平成29年2月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020年とその先に向けた提言－ (提言)

VIII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)
最終改正 平成28年11月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
- 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
- 6 図書資料等の複写
- 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の貸出し
- 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業(開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2_1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2_2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割

2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割

3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分

4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかつた場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならぬ。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

別表第1 (第4条、第11条関係)

館の名称 開館時間 及び休館日	中央図書館及び多摩図書館
月曜日から 金曜日まで	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
土曜日及び 日曜日	午前10時から午後5時30分まで
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の 保守点検日	毎月1日以内
館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
特別整理期間	1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から 金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び 日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分		使用単位	金額
施設 セミナールーム	分割しないで 使用するとき。	午前	8,100円
		午後	10,800円
		夜間	8,100円
		全日	27,000円
	分割して使用 するとき。	1 午前	4,200円
		午後	5,600円
		夜間	4,200円
		全日	14,200円
		2 午前	3,800円
		午後	5,100円
附 帶 設 備	講師控室		夜間 3,800円
	1	全日	12,800円
		午前	300円
		午後	400円
	2	夜間	300円
		全日	1,000円
		午前	300円
		午後	400円
音響映像操作機器 液晶モニター プロジェクター ワイヤレスマイクセット	夜間	300円	
	全日	1,000円	
	一式1回	2,900円	
	一式1回	120円	
	一式1回	840円	
	一式1回	240円	

（別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。）

2 東京都立図書館沿革

明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議

41. 11 東京市立日比谷図書館開館

大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定

4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19館)

昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正

18. 7 都制施行、都立図書館となる。

20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失

22. 1 都立立川図書館開館

3 都立青梅図書館開館

24. 11 都立日比谷図書館再開

25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管

30. 1 市立八王子図書館、都へ移管

2 都立日比谷図書館、養生館へ移転

32. 10 都立日比谷図書館新館開館

36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館

37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)

38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)

39. 3 東京都立図書館設置条例制定

43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)

3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定

44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)

45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)

46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)

47. 10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)

11 「司書制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)

12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画—1972—に組み入れる)

48. 1 都立中央図書館開館

10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)

49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)

9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)

51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)

53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)

9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)

56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)

57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)

「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)

5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)

「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)

11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)

12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)

59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)

60. 3 都立図書館電算システム設計開始

61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正(昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)

62. 3 東京都立図書館設置条例改正(名称変更: 東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)

5 都立多摩図書館開館

63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動

- 昭和 63. 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
- 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
 2. 3 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
 - 10 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
 4. 4 CD-ROM による東京都図書館情報ネットワーク稼動
 - 12 「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
 7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第 17 期東京都立図書館協議会意見書)
 9. 3 「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)

「21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」(第 18 期東京都立図書館協議会答申)
 10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定 (都立 3 館)
 - 7 都立図書館処務規則全部改正
 11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか？－社会問題への図書館の関わり方」(第 19 期東京都立図書館協議会提言)
 - 11 「資料保存計画」策定 (東京都立図書館資料保存委員会)

東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」=図書館活用講座実施
 - 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
 12. 2 都立図書館新電算システム稼動

都立図書館ホームページ開設
 - 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
 13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
 - 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館 (平成 14 年 2 月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
 - 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－IT を活用したサービスの革新」

(第 20 期東京都立図書館協議会提言)
 - 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
 14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」

(都立図書館あり方検討委員会報告)
 - 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
 - 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の 3 館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。

都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
 - 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
 15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第 21 期東京都立図書館協議会提言 1)
 - 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始 (平成 19 年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
 16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第 21 期東京都立図書館協議会提言 2)
 - 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
 - 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
 17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
 18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第 22 期東京都立図書館協議会答申)

7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
 - 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
 19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート

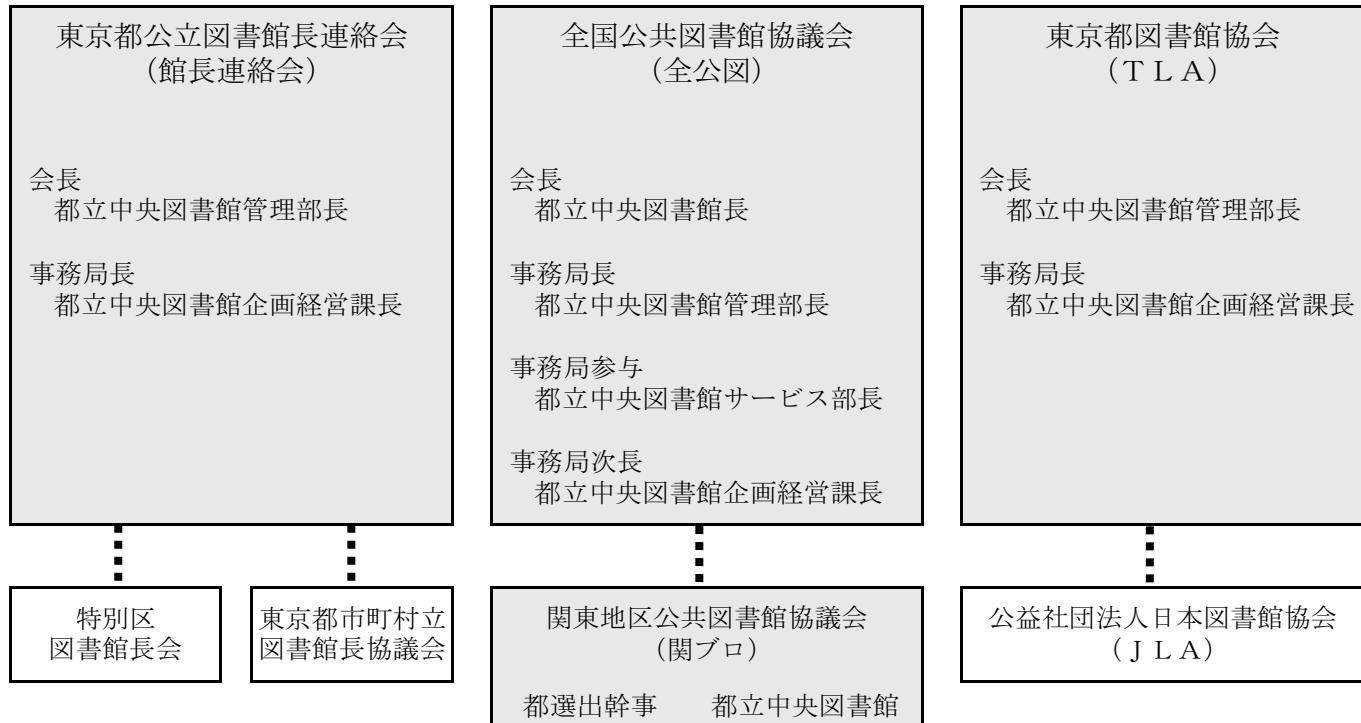
7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース (G-Search サービス) の有償提供の試行開始
 - 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
 20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の 8 係を 6 係に組織改正
 - 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性について合意
 - 11 都立図書館創立 100 周年<明治 41 年 (1908) 年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館>

「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」(第 23 期東京都立図書館協議会提言)

20. 11 都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
 12 「東京都立図書館条例」「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
 都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3月31日まで開館し、4月1日から移管準備作業のため休館（7月1日移管）
 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更（午前10時から開始）
 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成22年1月1日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY図書や点字図書の貸出しを開始
 都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
 都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成23年12月）
 「デジタル時代の都立図書館像」（第24期東京都立図書館協議会提言）
 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
 11 東京都立図書館Twitterを開始
 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
 東京都立図書館Facebookを開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
 10 電子新聞（2タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
 「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して—より質の高い図書館サービスの追求—」（第25期東京都立図書館協議会提言）
 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYOアーカイブ）」を開設
 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYOアーカイブ）」機能追加
27. 2 都立国際高等学校の国際バカレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第26期東京都立図書館協議会提言）
 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
 「今後3か年の重点目標」を設定
 7 都立中央図書館1階にカフェコーナーをオープン
28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
 11 「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 12 都立中央図書館2020年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
29. 1 「東京都立図書館条例」の一部改正
 都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）
 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して-2020年とその先に向けた提言-」（第27期東京都立図書館協議会提言）
 10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」試行的実施
 11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始
 「キッズルーム（授乳室付き）」の開設
 カザフスタン共和国との図書の国際交換に伴う贈呈式を実施
 30. 3 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」の開設

3 図書館関係団体・組織一覧

(平成30年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会（館長連絡会）

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会（全公図）

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会（T L A）

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会（関プロ）

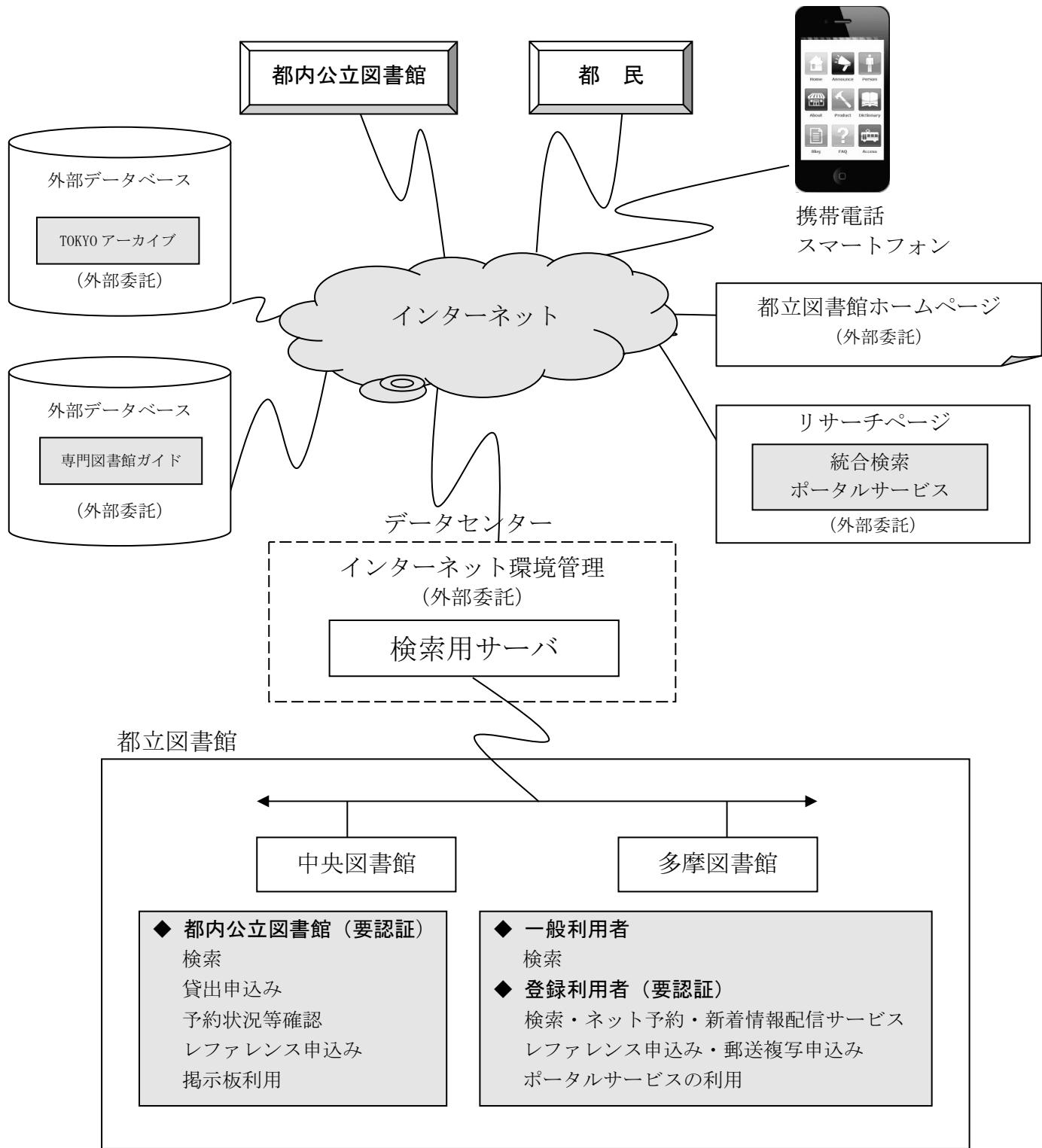
関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICS I) : 昭和 63 年 3 月～

第2期 (METLICS II) : 平成 12 年 2 月～ 平成 17 年 6 月に機器更新

第3期 (METLICS III) : 平成 23 年 12 月～ 平成 28 年 12 月に機器更新



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 7 台

- ・ クライアント : 231 台

業務用 : 138 台 (中央 105 台、多摩 33 台)

利用者用 : 93 台 (中央 66 台、多摩 27 台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成22年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70名の生徒から250点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の4種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.jp/>



携帯電話からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
https://www.library.metro.tokyo.jp/feature_phone/index.html
- 携帯電話からの蔵書検索
<https://catalog.library.metro.tokyo.jp/winx/mobileopac/top.do>

東京都立図書館 Twitter https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook <https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」 ホームページからご登録下さい。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、欅、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

*総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

*資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

*複写受付カウンター

*展示コーナー

東京 2020 大会に向けて情報発信を行う展示コーナーです。オリンピック・パラリンピックの歴史や過去の大会の記録、競技種目などを紹介する「オリンピック・パラリンピックコーナー」、江戸・東京の歴史や文化を紹介する「伝統・文化コーナー」、海外から見た日本を紹介する「Books on Japan (日本に関する洋書コーナー)」の3つで構成されています。

○ 重点的情報コーナー

*ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

*法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

*健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。

*闘病記文庫

闘病体験記録約 900 冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の一般週刊誌 13 誌も備えています。

過去の新聞（約 500 紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約 4,000 誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。

また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を9つのテーマで配置するとともに、国内の政令指定都市や海外の主要都市に関する資料も集め、広く「都市」に関する情報を提供しています。開架図書は約 33,000 冊です。



▲中央図書館



▲展示コーナー



▲都市・東京情報コーナー

○ 音声・映像コーナー

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、17,825 点を所蔵しています（4席）。

○ カフェコーナー

緑に囲まれながら、休息のひと時を楽しんでいただけます。

2階

○ 社会・自然科学系 資料・閲覧室

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本工業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3階

○ 人文科学系 資料・閲覧室

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 20 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」は、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。そのほか、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ 視覚障害者サービス室

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デイジー図書を含む。）6,004 点、点字図書 674 点、点字雑誌 8 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることができます。

4階

○ 閲覧室

ほぼ全席がパソコン用の電源のある席で、公衆無線 LAN が利用できます。

○ 企画展示室

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ グループ閲覧室

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ 多目的ホール

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5階

○ 閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています（p. 33～34 参照）。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席で無料 FREE Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO) が利用できます。また、豊富な資料や司書によるレンタルサービスも利用できるなど、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます。(16席)

○ グリーンビューシート

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です。(12席)

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、キッズルームにはおすすめの絵本を、授乳室には授乳用の椅子やおむつ交換台を用意しています。

○ カフェテリア

東京タワー・六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらつろいでいただけます。

＝各階＝

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1階から3階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1階から4階の閲覧席、5階調査研究ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 FREE Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO)

1階から4階の閲覧室、5階カフェテリア・調査研究ルームで無料 FREE Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO) が利用できます。

◆ デジタルサイネージ

各階にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報をることができます。

◆ 案内ホットライン

2階及び3階には、案内ホットライン専用電話が設置しており、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・1階受付で、車椅子の貸出しをしています。
- ・1階新聞閲覧コーナー、2階資料・閲覧室、3階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・1階と2階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・1階と4階にAEDを設置しています。

【各階の閲覧席数】

階	場所	席数
1階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2階	資料・閲覧室	194
3階	資料・閲覧室	276
4階	閲覧室	160
	グループ閲覧室	24
5階	閲覧室	72
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	16

〔建物概要〕

昭和48年1月	新築、開館
平成7年7月～平成8年5月	施設・設備改修
平成20年5月～12月	施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート	地上5階、地下2階
敷地面積	9,157.21 m ²
延べ床面積	延23,196.21 m ²
収蔵可能冊数	約208万冊（うち、開架35万冊）
閲覧席	865席（スツール席含め、1,011席）
建物内	全面禁煙

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成29年1月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。



▲多摩図書館

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却のほか、オンラインデータベース等の利用を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館の資料を使った展示やテーマごとの企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約1か月分の新聞40紙を配架しています。新聞を写真形式で保存したマイクロフィルムを見ることもできます。



▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約6,000タイトルのうち、約1,500タイトルの最新約1年分を配架しています。

このうち、日本語雑誌は50のジャンル別に1,080タイトル、外国語雑誌は12か国語411タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約3,300冊の参考図書のほか、都政資料も備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約21,500冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約8,500冊あります。

また、子供の読書活動推進や、学校での読書活動を支援するために作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 13,000 冊の絵本や物語、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供たちが気軽に質問や相談ができるようにしています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、親子や友達同士でゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 32,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面朗読及び録音資料の作成を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 FREE Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆ デジタルサイネージ

エントランスと閲覧室にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ バリアフリー対応等

・総合案内で、車椅子の貸出しをしています。

・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。

・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。

・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。

・入口に AED を設置しています。

[建 物 概 要]

平成 29 年 1 月 新築、移転開館

鉄筋鉄骨コンクリート 地上 3 階

敷地面積 7,216.74 m²

延べ床面積 延 8,982 m²

収蔵可能冊数 約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)

閲覧席 227 席

建物内全面禁煙

8 案内図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

○ 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分
ただし、	
・特別文庫室	午前10時～午後5時30分

○ 休館日

・館内整理日	毎月第1木曜日（祝・休日 又は他の休館日に当たる場合 は第2木曜日）
・設備等の保守点検日	毎月1回
・特別整理期間	年間12日以内
・年末年始	12月29日から1月3日まで



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布5-7-13（有栖川宮記念公園内）

電話 03-3442-8451(代)

【交通】

- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
- ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
- ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
- ・都バス 橋86系統 目黒駅～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
- ・港区コミュニティバス（ちいばす） 麻布西ルート 97 愛育クリニック、98 有栖川宮記念公園 徒歩2分

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

○ 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

○ 休館日

・館内整理日	毎月第1木曜日（祝・休日 又は他の休館日に当たる場合 は第2木曜日）
・設備等の保守点検日	毎月1回
・特別整理期間	年間12日以内
・年末年始	12月29日から1月3日まで



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町2-2-26

電話 042-359-4020

【交通】

- ・JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩7分
- ・京王バス 寺85系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地） いずみプラザ前 徒歩5分
- ・ぶんバス 万葉・けやきルート 西国分寺駅東 徒歩4分



事業概要 平成30年度版

登録番号（30）第4号

主要刊行物指定

平成30年7月30日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 有限会社太平印刷

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。